

山梨県の広報誌

ふれあい

特集号

冬

vol.59

山梨県で
働く魅力!



巻頭

みんなで考える
山梨の未来

動画で
見てみよう

みんなでも考える 山梨の未来

本県では、進学や就職による若年層の東京圏などへの転出が続いており、山梨の明るい未来を創るためには、若年層の転出の減少と転入の増加が重要な課題となっています。そこで、県では、若年層の県内定着に向けて「山梨で働く・暮らす魅力」を伝えるなど、さまざまな取り組みを行っています。



「将来、どんな人生にしたいのか」を
考えるきっかけに

「山梨」についてももっと知ってもらおう・再発見してもらおう機会とし、将来「山梨で働く」ことを選択肢として意識してもらえよう、「やまなしで働く魅力」若者座談会を県内の高校、県内外の大学で開催しています。今回は、県立甲府南高等学校で開催した若者座談会の様子を紹介します。

山梨の強みを再発見してみる

甲府南高校1年生を対象に、山梨中銀経営コンサルティング経済調査部長・岡本新一さんを講師に迎えて「やまなしで働く魅力」若者座談会を開催しました。

「山梨は最先端のIT関連産業が盛んな『ものづくり県』であり、国内はもとより世界規模のシェアを誇る、非常に高い技術力を持つ企業が集まっています。その理由は、昭和57年の中央自動車道の全線開通を契機に、半導体、工作機械、産業用ロボット、IT関連産業など、次世代を担う産業が次々に入ってきたからです。今後、中部横断自動車道が開通し、リニア中央新幹線が開業することで、山梨はさらに大きく発展していく



可能性を秘めています。その極めて重要な時代を現役世代として担うのが皆さんなのです」と、岡本さんは話します。生徒たちは「機械電子産業が山梨の経済をけん引していることを初めて知った」「リニア開業により、さまざまな働き方、暮らし方が実現するんだ」と山梨の強みを再発見し、興味を深めました。



「かつて、山梨の主力産業であった生糸産業は、近代日本を支えてきました。そして、今、山梨の経済をけん引している機械電子産業は、日本の主力産業となっているのです。山梨県人は、昔から『先読み力』がとて高かったといえます」と岡本さん



質疑応答では、山梨の農業の可能性や、製造業において文系出身者はどのような活躍ができるかなど、将来、山梨で働くことを視野に入れた積極的な質問がありました



「働き、暮らす場」として 山梨を選択肢の一つに考えてみる

「山梨は豊かな自然環境に恵まれた地でありながら東京圏からも近く、将来的には東京から大阪までのリニア沿線を網羅する7千万人超の都市圏に含まれることとなります。また、移住地としても大きなポテンシャルを秘めていて、NPO法人ふるさと回帰支援センターの移住希望地ランキングでも全国トップレベルの人気があります。『山梨には、な〜んにもないじゃん』という声を耳にしますが、地元の人にとっては当たり前のことでも、外から見れば素晴らしいと感じられる魅力がたくさんあるのです。ですから、『ないものねだり』ではなく『あるもの探し』をすることが大切だといえます。

ぜひ、皆さんには、山梨の良さや山梨の企業を知っていただき、自分の価値観と照らし合わせて、将来を見据え『働き、暮らす場』として山梨を選択肢の一つに考えてみてください。もし将来、県外や海外に出たとしても山梨で生まれ育ったことを誇りに思い、ふるさと山梨の素晴らしさを発信し続けてほしいと思います」と、山梨を愛する岡本さんは話しました。

座談会終了後、生徒たちに感想を聞くと「薬剤師、弁護士などになりたい職業は決めているが、山梨で働くことは考えていなかった。でも、今日、岡本さんの話を聞き、山梨で働くことも選択肢として考えていきたい」と、語ってくれました。



動画で見よう! 若者座談会のインタビュー

①スマートフォンまたはタブレットに「Layar」のARアプリをダウンロード(無料)②アプリを起動③右の写真に گذاした後、タップすると動画が再生されます。





若年層の県内定着に向けた取り組み

山梨の未来を担う若年層に対し、行政と企業、大学などが一丸となつて転出の減少と転入の増加に向けた事業を重点的・多面的に展開し、若年層の県内定着やU・Iターンに向けた働き掛けを一層強化していきます。



オール山梨で力を合わせ人口対策に取り組む

若者の県外転出や少子化を背景とした人口減少を改善するため、県ではこれまでさまざまな人口対策に取り組んできましたが、依然として人口減少に歯止めがかかっていないのが現状です。そこで今年度は、山梨の将来を



地域創生・人口対策課
内藤 勇樹 主任

担う若年層の県内定着に向けた事業を重点的・多面的に展開しています。その中の代表的な取り組みが「人口対策アクティブネットワークやまなし」です。この事業は人口減少という大きな課題に対して県だけではなく、オール山梨で力を合わせて対応していくために、人口対策に取り組む県内の団体・企業、市町村などのネットワークを構築するものです。各団体がそれぞれ展開している活動について、県がハブ（事務局）となつて情報交換や相互支援を行っていきます。これにより、相互の連携が促進され、県内外の若年層への情報発信を強化することができ、平成30年7月に創設し、現在、産

人口対策アクティブネットワークやまなし

県・市町村、民間の団体・企業などが連携してオール山梨体制で人口対策を推進



また、転出の減少に向けた取り組みとして、県内の高校生・県内外の大学生を対象に、山梨で働く魅力を伝える「若者座談会」の開催や、市町村と連携し県外の大学などへ電車通学する学生の「定期券購入費の助成」などを行っています。

一方、転入の増加に向けては、これまで東京圏の大学・短期大学との間で「就職促進協定」を締結し、県内企業の情報を提供するなどし、学生のU・Iターン促進につなげています。

学官など59団体で構成され、フォーラムの開催やイベントへの参加などの活動も行っています。今後もさまざまな団体による活動の輪が広がっていくことを目指します。

県では、今後もこのような取り組みを通して、若年層の県内定着を強化していきます。県民の皆さんにも、未来を担う若者たちに向けて山梨の魅力を発信していただきたいと思っています。

U・Iターンの促進に向け東京圏にある大学と就職協定の締結

県では、県内企業の人材確保と産業の活性化につなげるため、本県出身者が多く在籍する大学・短期大学29校とU・Iターン就職促進に関する協定を締結しています。この協定では、二人でも多くの学生に山梨の企業や山梨で暮らす魅力を知ってもらい、

生まれ育った山梨に就職してもらうことを目指しています。具体的には、学生に県内企業や生活情報を提供している、東京・有楽町にある「やまなし暮らし支援センター」の利用を呼び掛けるほか、県主催の合同就職説明会やインターシップへの参加促進、学校で



「鉄道通学支援」を活用した生活スタイル

進学を契機とした若年層の県外への転出を減らすため、県では市町村と連携して、自宅から県外の大学などへ通学する学生の鉄道定期券購入費を助成しています。例えば、県内から東京方面へ鉄道を利用して通学した場合には、1人暮らしをした場合の費用に比べ、年間約100万円の削減が可能となります。さらには山梨を生活の拠点とすることにより、県内での就職に向けた情報も入手しやすくなります。

現在は甲府市、山梨市、韮崎市、北杜市、甲斐市、笛吹市、甲州市の7市が鉄道通学支援を実施しており、330名(平成30年11月末現在の学生が利用しています。本事業については県のホームページに掲載しているほか、高校を通じて情報提供しています。制度の内容は各自治体により異なりますので、詳細についてはお住まいの自治体にお問い合わせください。

時間を有効に使って電車通学

実践女子大学
生活科学部食生活科学科 管理栄養士専攻 1年

斉藤 愛実さん

私は山梨が好きで、将来は管理栄養士になりたいと、県内で学校給食に関わる仕事に就きたいという思いもあり、自宅から通学しようと決めました。

鉄道通学支援については、高校や利用している先輩から情報を得ました。片道約1時間半の通学時間は、勉強や音楽を聴いて気分転換をするなど有効に使っています。自宅通学だと休日は地元の友だちとも会えますし、毎日帰宅すると温かい晩ごはんがあるのもうれしいです。



神奈川大学での山梨県の就職相談ブース

■ 就職情報メールマガジンに登録しよう!

やまなし暮らし支援センター

住所: 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
NPOふるさと回帰支援センター内
開館時間: 午前10時~午後6時(月曜・祝日・年末年始を除く)
TEL: 03-6273-4306



やまなし暮らし支援センターでの就職相談

実施される企業説明会などに山梨県の紹介ブースを設置しています。また、学生に就職情報を提供する「ユースバンクやまなし」への登録の呼び掛けや、学校主催の保護者向けの就職セミナーで県担当者が情報提供するなど、さまざまな取り組みを行っています。

協定締結校には、山梨から東京圏へ進学した学生の約4割が在籍しており、山梨への就職を決める学生が徐々に増えてきました。今後も最新の情報を積極的に発信するなど、山梨で安心して働き、暮らしてもらえぬ取り組みの強化を図っていきます。



U・Iターン就職促進協定締結式

平成32年4月開設 甲府工業高校 全日制専攻科



県立甲府工業高等学校 全日制専攻科の完成予想図

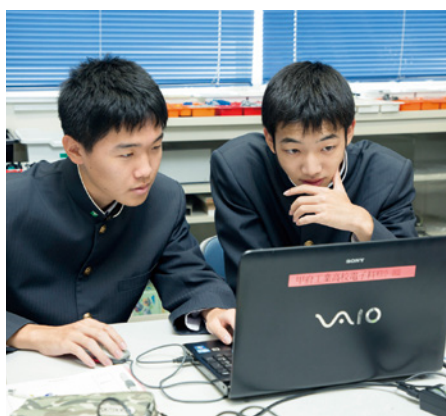
本県の「ものづくり産業」の発展を支える人材を育成するため、県立甲府工業高等学校に機械・電子の高度な専門教育を行う、「工業系」全日制専攻科（2年制）を平成32年4月に開設します。



幅広い分野での活躍が期待できる
人材を育成する

専攻科とは、高校を卒業した生徒がさらに専門性を高め、高度な知識・技術を身に付けるために設置されるものです。平成32年4月に開設する「県立甲府工業高等学校 全日制専攻科」は、県内初の全日制的専攻科です。コースは「機械系」と「電子系」があり、工業系高校を卒業または卒業見込みで、機械系または電気・電子・情報系に関する科目を25単位以上修得した生徒が受験することができます。

工業系の全日制専攻科を設置する一番の目的は、山梨の基幹産業である機械電子関連の企業で入社直後から即戦力として活躍し、将来のリーダー的な存在となる技術者を輩出することです。今、企業の技術者には、それぞれの専門性だけでなく、各分野にまたがる複合的な知識や技術が求められています。そこで全日制専攻科では、



ロボコンのプログラミングを行う、電子科3年生(上)
人型ロボット・パルミでAIについて学ぶ、電子科3年生(左)

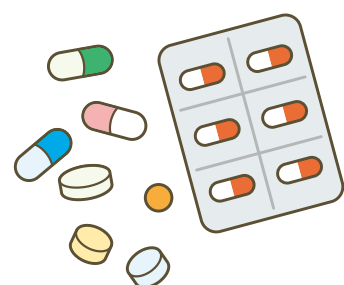
機械・電子の両分野の知識を身に付けていきます。また、授業で学んだ内容を企業で実習し、経験したことを授



業でさらに深めていく「デュアルシステム」を取り入れます。これにより実践的な能力が身に付くと同時に、生徒と



ジェネリック医薬品を 使ってみませんか



ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造・販売され、効き目や品質、安全性が同等であると国が認めた薬です。また、価格は2〜7割安くなっているため、患者さんの経済的負担の軽減や健全な医療保険制度の維持にもつながります。しかし、本県における平成29年度の使用割合は、64.0%と全国平均の70.2%を下回り、47都道府県中46位という状況です。

そこで、県では1月を「ジェネリック医薬品使用促進強化月間」とし、普及啓発を行っています。ジェネリック医薬品について正しく理解し、積極的にご使用ください。

ご存知ですか? ジェネリック医薬品

■ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、新薬と同一の有効成分が同一量含有され、同等の効き目があります。新薬と異なる添加剤が使用されることがありますが、有効性、安全性、品質について国が厳格な審査の上、製造販売の承認をしています。



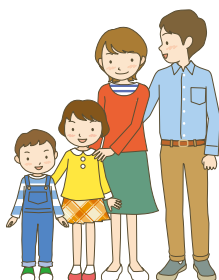
■薬代が安くなる

ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を使用するため、その開発費用が抑えられ、価格を低くすることができます。医療の質を落とさずに個人の負担を軽くします。



■安定した医療保険制度を次世代に引き継ぐ

ジェネリック医薬品を使用することは、高齢化が進むことで増加が予想される医療費を抑制し、次世代へ安定した医療保険制度を引き継いでいくことにつながります。





ジェネリック医薬品
医師や薬剤師と相談し、安心して
ご使用ください



小松小児科医院 院長
小松 史俊さん

当院では、国が定める厳しい基準で承認されたジェネリック医薬品の中から、私が納得して選んだものを責任を持って使っています。

現在、国立病院などでは、抗がん剤など新薬しかないものを除き、ほぼ全てジェネリック医薬品が使用されています。しかし、山梨では普及が遅れています。その理由としては、今まで飲んできた薬を途中で変更することへの不安感や、ジェネリック医薬品の安全性についての理解不足などがあると考えられます。こうした患者さんの意識を変えていくためには、やはり私たち医師が患者さんとしてコミュニケーションを取り、正しく理解してもらうことが必要だと感じています。

ジェネリック医薬品は新薬と同じ有効成分を有し、効き目や安全性も同等



当院では、薬剤師とも連携しながら、ジェネリック医薬品の普及を進めています。ジェネリック医薬品についてご不明な点があれば、かかりつけの医師や薬剤師に相談し、安心してお使いになるというでしょう。

です。しかし、新薬とは違う添加剤が使用されることがあり、色や形、味・香りが異なる場合もあります。もちろん添加剤も全て安全性が確認されているものですが、小さなお子さんは味が変わることに抵抗感を示すこともあり、ますから、服用の仕方などについても丁寧に説明しています。



安定した医療保険制度を
維持していくために

本県では、ジェネリック医薬品の使用割合が全国に比べて低く、その使用促進が課題となっています。そこで、今年度、ジェネリック医薬品に関するアンケート調査を実施したところ、高齢者や子どもの保護者がジェネリック医薬品の使用に強い抵抗感があり、その理由として、効果や安全性が心配との声が多いことが分かりました。



漫画小冊子
『教えて! ジェネリック医薬品』

こうしたことから、1月を「ジェネリック医薬品使用促進強化月間」とし、医師や薬剤師など関係者が連携し、

その使用促進に向け、普及啓発に取り組んでいます。具体的には、SNSやテレビCMなど各種メディアによる情報発信を行うほか、漫画を使ってジェネリック医薬品について分かりやすく説明した小冊子を作成し、乳幼児健診の際などに配布していきます。ジェネリック医薬品を選ぶことは、子どもたちの将来の負担軽減や医療保険制度の維持につながります。未来に向けた取り組みとして、ぜひジェネリック医薬品を使ってください。



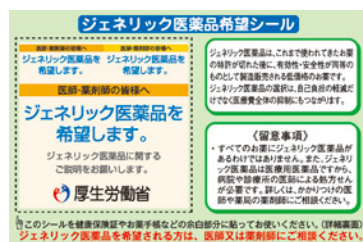
衛生薬務課
井出 陽子 主査

ジェネリック
医薬品を
処方して
もらうには



■病院や診療所では医師の診察時、薬局では処方箋を薬剤師に渡す時に「ジェネリック医薬品にしてもらえますか?」と聞いてみてください。

■お近くの保健所の窓口などで配布している「ジェネリック医薬品希望シール」を、健康保険証やお薬手帳の余白部分に貼って提示してください。



リニアで変わる やまなしの姿

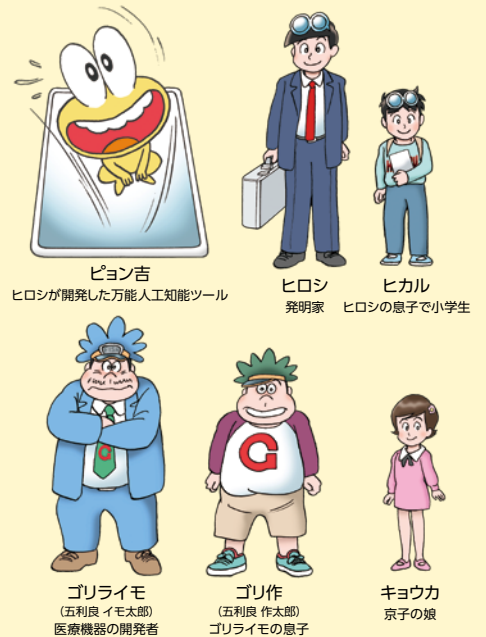


あらすじ

時は、リニア中央新幹線が開業してから10年後の2037年。15年ぶりにアメリカから山梨に戻ってきたヒロシ(ど根性ガエルの主人公)とその息子のヒカル。2人の目を通してリニアで変わる、やまなしの姿を描いていく。

前号(第4回)では、自動運転車で自宅に着いた2人が、東京から移住した隣人の吉野さんと、リニアを活用したライフスタイルについて話した。

漫画「リニアで変わるやまなしの姿」登場キャラクター



作:吉沢やすみ 作画:石川森彦



万能AIとして生まれ変わったボクが
リニア中央新幹線の開業によって
変わる山梨の姿について説明するよ!

ピョン吉の リニア豆知識

自動運転で動くバス

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの頃から、部分的に自動運転で動くバスが走るようになったよ。
- 街中を自動運転で走るバスも増えていて、あまりスピードは出ないけど、いろいろなところに行けるようになったんだ。
- 水素で走るFCバス(燃料電池バス)だと、排気ガスも出さないから環境にもやさしいよ。



サテライトオフィス

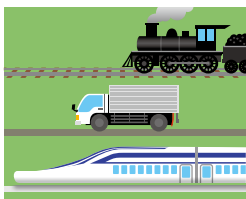
- 本社などとは別の場所で仕事をするための小さなオフィスのことを、「サテライトオフィス」って言うんだ。
- 山梨にサテライトオフィスがあれば、東京の会社でも、自分の家の近くで働くことができるよ。
- リニアがあるから、すぐに本社に行ったり、名古屋に出張できるから、仕事もスムーズだって。

健康寿命

- 歳を取っても介護などを受けないで、自立して健康な生活を送ることができる期間のことを「健康寿命」って言うんだ。
- 山梨県の健康寿命は平成25年に男女とも日本一となって以来、トップレベルなんだ。
- 食べ物や運動、地域とのつながりが関係しているといわれているよ。

産業の活性化

- 交通が便利になるたびに、山梨県の産業は発展してきたんだ。
- 昭和57年に中央道が全線開通したときには、機械電子産業を中心とした製造業が増えたんだ。
- リニア開業で、さらに大都市とのアクセスが良くなるから、研究開発部門などを中心に増えているんだ。



豆知識で学んだことで クイズに挑戦してみよう!

QRコードを読み込んで、
ピョン吉AIのサイトに
アクセスしよう!



つづきは、「ふれあい vol.60」(平成31年4月1日発行)に掲載します。



やまなし サイエンスラボ

山梨の産業の活性化や県民生活の
向上を目指す試験研究機関の紹介

vol. 7 甲府技術支援センター



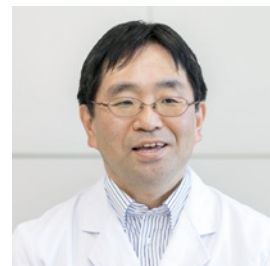
農産物を用いた新たな加工食品 「大豆チーズ様食品」の開発

山梨県産業技術センターでは、甲府技術支援センターにおいて乳製品アレルギーの人でも食べることができる「大豆を原料としたチーズのような食品」の研究開発を行っており、本県の新たな特産品の一つとすることを目指しています。

研究開発と技術支援で 産業の発展を目指す

山梨県産業技術センターは、技術支援をより一層強化し、県内企業の発展を促すため、平成29年4月に山梨県工業技術センターと山梨県富士工業技術センターを再編し、スタートしました。

甲府技術支援センターには食品酒類・研磨宝飾技術部、電子システム技術部、材料・燃料電池技術部、機械技術部、デザイン技術部、ワイン技術部があり、山梨の産業のさらなる活性化に向けてあらゆる面で県内企業を支援しています。私が所属する食品酒類バイオ科では、食品・酒類の加工・保存などの技術、バイオ利用技術、地域素材の高度利用に関する支援および試験、研究開発



山梨県産業技術センター
甲府技術支援センター
食品酒類・研磨宝飾技術部
食品酒類・バイオ科
木村 英生 主任研究員

に取り組んでいます。これまでも県産小麦「ゆめかおり」について加工食品への適性評価や、果物加工の研究などを行う一方、出前講座や研修会の開催、依頼試験や分析など、現場のニーズに応える事業も展開しています。

ワインや日本酒と楽しめる 大豆チーズ様食品の 開発に挑戦

山梨は果樹、野菜、穀物など、数多くの農産物が生産されており、これらを生かしてオリジナル性のある加工食品を作ってみたいという要望が県内の食品業界から寄せられています。そのようなか、大粒で甘みが強い峡南地域の特産品「あけぼの大豆」に注目しました。また、あけぼの大豆のブランド確立



大豆の新たな可能性から地域が発展してくれたら、とてもうれしいです

ゆば工房 五大代表
望月 五夫さん

「あけぼの大豆」は地元の特産品なので大豆には特別な思いがあります。工房では、湯葉をメインに製品を作っていますが、全国の皆さんに大豆のおいしさを知っていただきたくて、何か発信する手立てがないか模索しました。そして思いついたのが「大豆でチーズのような製品が作れないだろうか?」ということでした。甲府技術支援センターとは、これまでも大豆の成分を調べていただくなど、交流がありましたので相談してみたところ、要望に応じていただくことができました。自分の力には限界があるので、センターの存在は本当に心強いですね。これからも大豆の風味を生かした今までにない新たな食品の開発に向けて、センターと一緒に取り組んでいきたいです。



大豆を知り尽くした望月さんの助言は研究開発の大きな力に。試作品のことを、大豆とチーズにちなみ、親しみを込めて「デーズ」(甲州弁で大豆のこと)と呼びながら共同開発は進んでいる

甲府技術支援センター



【問い合わせ先】

住所: 甲府市大津町2094

TEL: 055-243-6111 FAX: 055-243-6110

甲府技術支援

検索



見た目はカマンベールチーズそのもので、発酵によるうま味と大豆本来の繊細なおいしさを味わえる。乳製品アレルギーの人も食べられるチーズ様食品としても期待されている

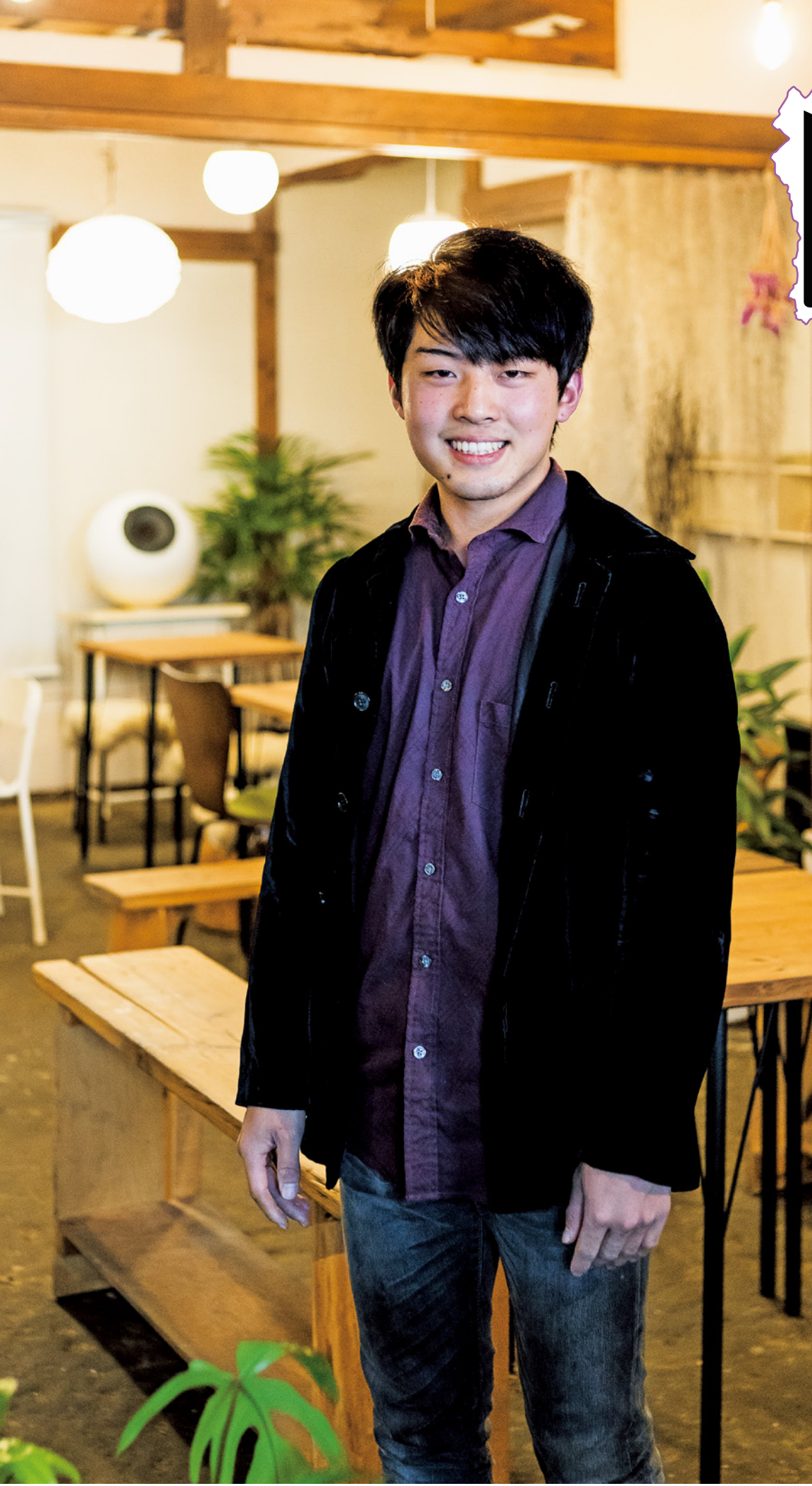
や、豆腐や湯葉などの原料として需要が高まりつつある県産大豆のさらなる生産拡大を視野に入れました。そして、魅力ある新たな加工食品として「大豆チーズ様食品」の研究開発に平成29年から着手し、製品化を目指すことにしました。まずは、カマンベールチーズの製造研修を受け、その製法を応用して、豆乳から大豆チーズ様食品の製造を試みています。大豆は、通常のチーズと違い植物性のタンパク質であるため、チーズのような食感を出す難しさはありましたが、製造工程の諸条件を工夫して試作試験を繰り返した結果、チーズに近い食感が実現しました。味はいはチーズとは若干異なりますが、発酵によるうま味と、大豆本来のおいしさを感じ取り、製品化に向けた手応えを感じて

います。真空パックに脱酸素剤を入れて冷蔵保存すれば、8カ月間、日持ちすることを確認しており、土産品としても活用できる見込みです。今後は、栄養的にも優れ、おいしさや色合いも楽しめるように県産の野菜や果物などを混ぜ合わせバリエーションを広げることや、品質の安定化などに向けて研究を進めていきます。

本県はワイン、日本酒などの生産も盛んですから、県産酒と一緒に楽しめる大豆チーズ様食品を完成させ、新たな山梨ブランドとして発信していきたいと思っています。



試作品が完成し、品質の安定化を目指して成分検査を行っている



[シュン!]

瞬

やまなしの

vol.
19

人と人をつなぐ、挑戦する方の夢を
応援する、そんなカフェに

ソウユウ 創悠 カフェ&ギャラリー 経営
中島 慎之甫さん

堀内良平

1870-
1944

富士山を世界に拓いた愛郷の実業家

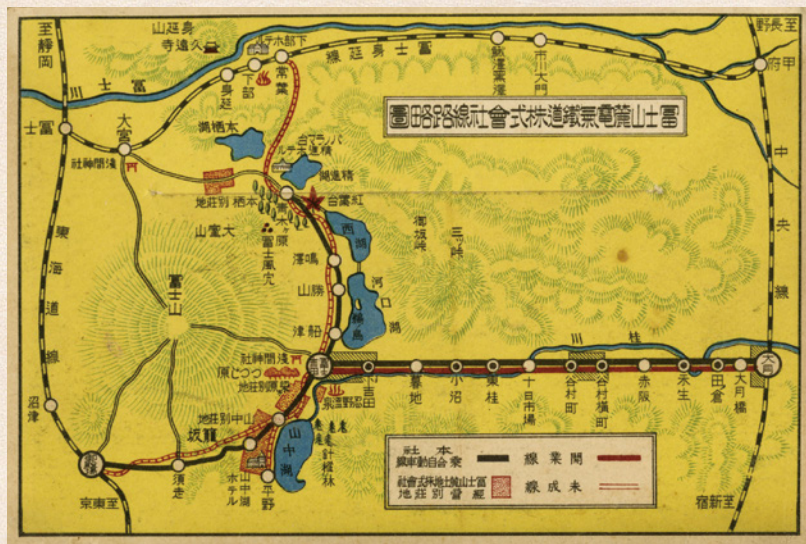


(富士急行株式会社提供)

母の急逝の後、幼い弟たちの養育を助け
苦学して身を起こした堀内良平。
富士山麓の観光地としての価値にいち早く気付き
鉄道や別荘地など山麓の開発構想を立ち上げ
人々が富士山の価値を享受するきっかけとなった。



富士山麓電気鉄道開通記念はがきの外袋(山梨県立博物館蔵)



富士山麓電気鉄道株式会社 路線計画図(山梨県立博物館蔵)

学問への思いを貫き、上京

堀内良平は、1870(明治3)年、八代郡上黒駒村(現笛吹市)に、農業を営む堀内藤右衛門の長男として生まれた。おとなしい性格だったが、尋常小学校に入ると、勉学に励み人の嫌がることも進んで引き受け、みんなから慕われた。卒業後は進学のため上京することを望んでいたが、1882(明治15)年に母が急逝したことで、幼い弟たちの世話や家の仕事のため断念し、役場の吏員になる。しかし、学問を志す気持ちは消えることがなく、退職して南八代村(現・笛吹市)の私塾「成器舎」で学び、その後も、早稲田講義録を取り寄せて勉学を続けた。

1892(明治25)年、良平は、末弟の尋常小学校卒業を機に上京を決意。法律事務所働きながら、3人の弟を各々の希望に沿った学校に進学させるとともに、自らも東京法学院(現在の中央大学)に入学し、学業にいそしんだ。

地元の発展に尽力

報知新聞の販売権を得て1897(明治30)年に帰郷した良平は、地元で販売店を開業し、山梨支局長として山

梨の出来事を記事にして本社に送った。一方で「育英塾」を開き、村の子どもたちの教育にも精力的に取り組んだ。

また、農地が狭く収入の少ない村の困窮を打開するため、御料林の払い下げ運動を行い、山林を開拓して農地とし、地元農家の収入増につなげた。こうした活動から、良平への信頼は高まり、郡会議員となり、郡会議長に選出された。さらに、上黒駒郵便局長や甲州葡萄酒会社社長を務め、地元の発展に尽力した。

1907(明治40)年、山梨は大水害に見舞われた。その年、県会議員となった良平は、東京の新聞各社に被災地の取材を要請。この報道が国からの水害復旧対策費の獲得につながり、復興に寄与した。

実業家に転身

富士山麓の観光開発に尽力

1908(明治41)年、公職を退き上京した良平は、報知新聞経済部の記者となり、取材活動を通して、山梨出身の実業家と交流を深めていった。良平には、彼らの協力を得て、東海道線と中央線を結ぶ鉄道を実現したいという思いがあった。良平は、鉄道事業への造詣が深く、甲州財閥として勢いがあった旧

知の小野金六を説得し、1912(明治45)年、小野を社長とする富士身延鉄道(現在のJR身延線)を創立し、全線開通を目指した。

一方、1918(大正7)年には、甲州財閥系の実業家らと東京市街自動車(現在の都営バス)の営業を始めるなど、東京の交通網の発展に力を注いだ。



山中湖畔にある堀内良平の頌徳碑

さらに、鉄道計画の沿線調査から富士山麓の観光地としての価値を見抜いていた良平は、その開発に向けた鉄道建設と別荘地開発を提唱し、富士山麓開発構想を立ち上げた。そして、当時の県知事の後押しもあり、1926(大正15)年に、富士山麓電気鉄道株式会社と富士山麓土地株式会社を創立して、鉄道開発、路線バス事業、別荘地開発、ホテル建設、ゴルフ場開発など、多角的に事業を展開した。1928(昭和3)年には、富士身延鉄道が全線開通し、その翌年には、富士山麓電気鉄道(現在の富士急行線)も開通。長年の夢が実現した良平は、1930(昭和5)年から3期にわたり衆議院議員を務めた後、1944(昭和19)年、74年の生涯を閉じた。良平の富士山を世界に拓くという思いは、多くの人々が富士山の価値を享受するきっかけとなった。



山梨近代人物館

山梨県庁舎別館2階(甲府市丸の内1-6-1)

第8回展示

「甲州財閥～近代日本を駆け抜けた人々～」

期間：～平成31年3月28日

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：第2・4火曜日/12月29日～1月3日

入館料：無料

TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991

〈記事監修〉山梨大学 名誉教授

齋藤康彦

山梨県の職員数・給与のあらまし

平成30年4月1日現在、およそ1万3千人の職員が、県民生活と密接に関わる仕事に携わっています。福祉・保健・環境・産業振興・基盤整備などの一般行政部門をはじめ、県立高校や市町村立小・中学校、警察など、県の多岐にわたる分野で働く職員の数や給与の状況をお知らせします。

職員数の状況

行政改革大綱に基づき、平成23年4月1日までに組織や事務・事業の見直しなどを行い、職員数の削減に取り組みしました。平成30年4月1日現在、総職員数は前年比3人減の1万2,959人となっています。



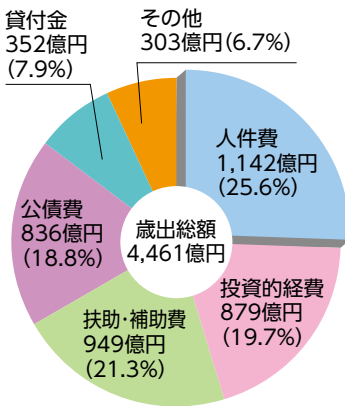
給与などの状況

職員の給与は、県内の民間企業における従業員の給与、生計費、国や他の都道府県における職員の給与などを調査・研究した人事委員会からの報告と勧告を踏まえ、県議会の審議を経て、条例で定められています。

平成29年4月1日現在の一般行政職の給料は、国家公務員の水準を100とした場合、100.8となっていて47都道府県中15位です。

平成29年度普通会計決算における人件費の歳出額は、114.2億円で歳出全体の25.6%となっています。

歳出に占める人件費の状況 (平成29年度普通会計決算)



●年度別部門別職員数

(各年4月1日現在) (単位:人)

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総職員数		14,746	14,548	13,505	13,337	13,277	13,198	13,195	13,125	13,043	12,962	12,959
一般行政		3,205	3,104	3,082	3,043	3,038	3,055	3,044	3,054	3,037	3,019	3,029
教育		8,650	8,559	8,389	8,267	8,201	8,113	8,114	8,019	7,939	7,869	7,838
警察		1,911	1,909	1,925	1,918	1,932	1,924	1,930	1,945	1,960	1,966	1,976
公営企業等		980	976	109	109	106	106	107	107	107	108	116

●特別職の給料月額などの状況

(平成30年4月1日現在)

区分	給料・報酬
知事	1,250,000円
副知事	960,000円
議長	910,000円
副議長	820,000円
議員	770,000円

●初任給の状況

(平成30年4月1日現在)

区分	給料
一般行政職	大学卒 185,800円
	高校卒 151,500円
小・中学校教育職	207,500円
高等学校教育職	207,500円
警察職	大学卒 212,500円
	高校卒 180,000円

●平均給料月額および平均年齢の状況

(平成30年4月1日現在)

一般行政職	平均年齢43.2歳	333,702円
小・中学校教育職	平均年齢43.9歳	363,133円
高等学校教育職	平均年齢45.4歳	381,652円
警察職	平均年齢36.7歳	310,598円

【問い合わせ先】 人事課 ・職員数については TEL 055-223-1372
 ・給与については TEL 055-223-1373

FAX 055-223-1379

山梨でチャレンジしませんか

― 県職員採用ガイダンス開催 ―

平成31年度職員採用試験に向け、3月上旬、東京と県内において、ガイダンスを開催します。ひと口に県職員と言っても、仕事の内容はさまざまです。ここでは、現在、県職員として活躍する2人の声を紹介します。あなたのあふれる情熱と行動力を山梨のために生かしてみませんか。



オリンピックに向けて山梨の魅力を発信

職種：行政
平成25年度採用
オリンピック・パラリンピック推進室
清水 愛美 主事

私は大学時代に山梨を離れたことで、改めて山梨の良さに気づき、山梨を盛り上げていく仕事がしたいと思い県職員を志望しました。これまで、農業や環境保全関係などの業務に従事し、いろいろなことを学び、経験をすることができました。また、総務省の地方公務員海外派遣プログラムにも参加し、国際的な感覚を身に付ける機会を得ることもできました。県職員は幅広い分野の仕事に従事し、視野を広げるチャンスがあるので、やりがいを感じます。今後は、東京オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、イベントなどを通じて、山梨の魅力を広く発信していきたいと思っています。

形に残る感動がある仕事で山梨に貢献



職種：土木
平成22年度採用
峡東建設事務所
窪川 雄太 主任

私は山梨のために土木分野で貢献したいと思い県職員になりました。土木の仕事は計画から設計、施工、維持管理までの全てに携わることができるのが特徴的だと思います。現在は山梨市と笛吹市におけるバイパス道路事業、橋の架け替え事業などを担当しています。事業を実施する中で、用地交渉などに携わる場合もあり、幅広い知識が必要になりますので、常に自分なりの努力を続けています。土木は地図に残る仕事でもあり、学んできたことを形にできる感動があります。これからも県民の皆さんの生活を豊かにするための仕事に取り組んでいきたいと思っています。

WEBで発信! 職員採用情報

職員採用サイトに、職員採用案内や職員のインタビュー・メッセージなどを掲載しています。また、フェイスブックやツイッターでも、県庁の日常業務、職員研修、福利厚生など、さまざまな情報を発信しています。



先輩職員が語る! 山梨県職員採用ガイダンス

職種別に先輩職員が業務内容や仕事のやりがいなどを説明します。

	東京	山梨
日時	平成31年3月3日(日) 午後1時30分～4時30分	平成31年3月7日(木) 午後1時30分～4時30分
会場	都道府県会館4階 401・402会議室(千代田区)	県立図書館1階 イベントスペース(甲府市)
対象	県職員として働くことを希望または検討している方(本人に限ります)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度職員採用試験日程・試験制度などの説明 新採用職員・中堅職員・女性職員による職場体験談 専門職職員による職種別業務説明(行政以外) 	
定員	行政: 80名 行政以外: 40名	行政: 120名 行政以外: 80名
申込受付	平成31年 1月28日(月)～2月21日(木)	平成31年 1月28日(月)～2月26日(火)
申込方法	山梨県電子申請サービス『やまなしくらしねっと』から	

※詳細は、職員採用サイトをご覧ください!

自転車競技ロードレースの魅力を感じよう

東

京2020オリンピック自転車競技ロードレースの県内開催決定を受け、大会成功に向けた県民の機運醸成を図るため、11月中旬、県民の日小瀬会場で記念イベントを開催しました。東京2020オリンピック・マスケット「ミライトワ」と、パラリンピック・マスケット「ソメイティ」によるステージでは、子どもたちとのダンスや握手会が行われました。

PRブースでは、ロードレースの県内コースと自転車競技の魅力を紹介する動画の放映や、パネルの展示を行いました。また、あたたかみ地を走っているかのような体験ができる「サイクリングVR」コーナーや、特設コースで実際にロードバイクに試乗しそのスピード感と魅力を体験できる「実走体験」コーナーなどは、多くの家族連れでにぎわいました。



東京2020オリンピック・パラリンピック マスケットによるステージ

知って、伝えて、広めよう「やまなしの食」

山

梨の特色ある郷土食を次世代に継承していくとともに、地域の活性化や観光振興につなげていくための取り組み「食による地域の魅力再発見事業」を展開しています。本県の郷土食などのうち、特に継承に取り組んでいく167品目を「やまなしの食」に認定し、そのうちの代表的な47品目を「特選やまなしの食」に選定しました。

選定した47品目に関するクイズや試食会などの実施を通じて山梨の食文化を県民に広めていくほか、今後は平成31年2月に開催する「やまなしの食」を考えるシンポジウムや、6月に本県で開催される「食育推進全国大会」で、山梨の郷土食の魅力を紹介していきます。



試食会では、せいだのたまじ(上野原市)や、にらまん(韮崎市)を参加者に振る舞った

新・子宮頸がん検診車運用開始 20歳になったら2年に一度の検診を

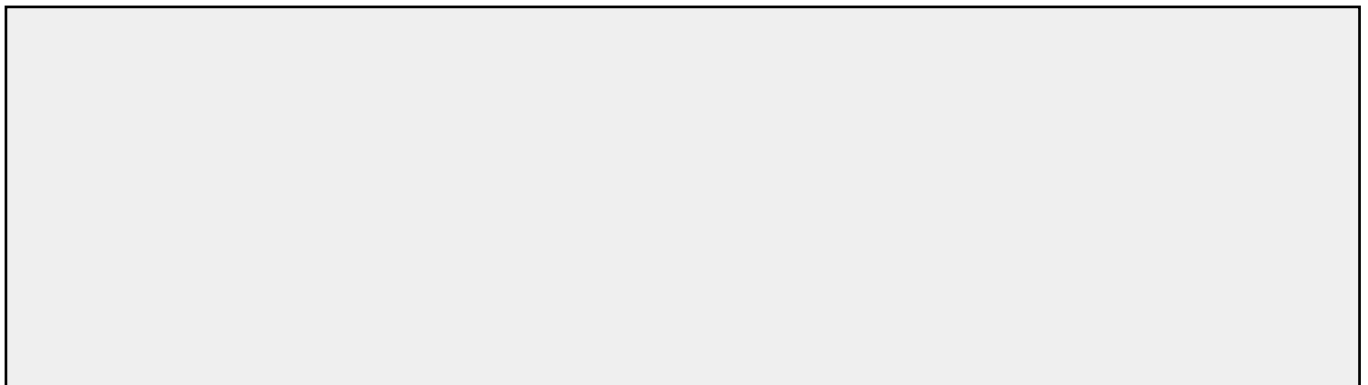
10

月下旬、県庁噴水広場にて、新たな子宮頸がん検診車の運用開始式を行いました。今回導入した検診車は、車内を明るく、段差をなくすなどして、より快適な環境で検診を受けることができるだけでなく、新たに超音波診断装置を搭載したことにより、子宮体がんや卵巣の異常も発見できるようになりました。また、車体には、これまで子宮頸がん検診を受けてこなかった方に関心を持ってもらえるようなデザインをラッピングしました。

今後は、より多くの皆さんにこの検診車を活用していただき、子宮頸がんによる死亡率の減少を目指していきます。

「20歳になったら2年に一度の検診を。」のメッセージが書かれた、新たな検診車の運用開始式

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



東京2020オリンピック・パラリンピックを好機に、山梨とフランスの交流を深める

フランスは、山梨県内9市町村で東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿を行うこととしています。県では、これを好機と捉え、さまざまな分野における交流促進に取り組んでいます。

甲州軍団、パリで「びざ、出陣！」

日 仏友好160周年の今年7月から平成31年2月までフランス・パリを中心に、大規模な日本文化紹介行事「ジャポニスム2018」が開催されています。

県では甲府市と共同して、「『地方の魅力』―祭りと文化」に甲州軍団出陣で参加し、10月中旬、パリ西部のアクリマタシオン庭園で勇壮な武者行列を披露するとともに、観光ブースでは山梨の魅力をもPRしました。信玄公役には、自転



よろいかぶとをまといパリ市内を勇猛果敢な姿で行進するフランス市民



初めて持つ刀に興奮する、現地の子どもたち

車プロロードレース「ツール・ド・フランス」などで活躍するロードレーサーのサミュエル・デュムラン氏や、ルディ・モラー氏を起用。また、山本勘助、湖衣姫役には、情報発信力のある現地のインスタグラマーなどを起用し、SNSで出陣の様子を発信してもらいました。

県では、今回のジャポニスム2018を契機に、今後も効果的・継続的に情報発信などを行い、フランスとの交流を深めていきます。

ミレー作品を介してフランスとの文化交流

11

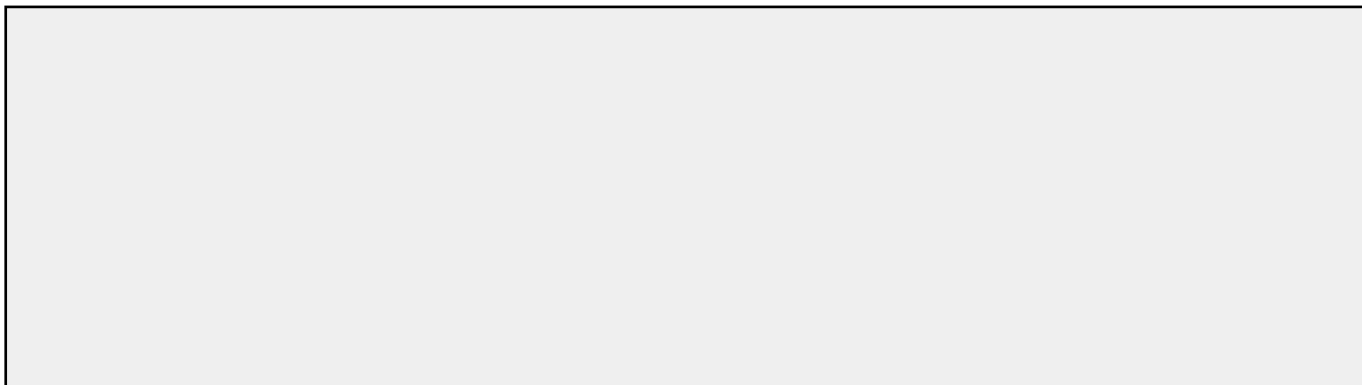
月3日に開館40周年を迎えた県立美術館では、ミレーと同じく身近な自然の美しさを主題として表現するバルビゾン派の画家シャルル・フランソワ・ドービニーの国内初の特別展を開催しました。今回の特別展は、フランス・ランス美術館など多くの美術館からの協力を得て開催されたものです。

フランス・リール宮殿美術館は、平成26年の県立美術館特別展「生誕200年ミレー展」にミレーの絵画を出展。一方、県立美術館は、平成29年にリール宮殿美術館で開催された「ミレー回顧展」へ県立美術館所蔵の代表的作品《落ち穂拾い、夏》を貸し出すなど、山梨県とフランスの間では、ミレー作品を介した文化交流が深められています。



特別展「シャルル＝フランソワ・ドービニー展」のオープニングセレモニーであいさつをする、ランス美術館館長カトリーヌ・ドウロ氏

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展 宝石の街 甲府

こうふ開府500年記念事業関連展示として、明治期から現代までの山梨の宝飾産業の変遷と宝飾加工技術の発展が分かる、水晶工芸品やジュエリー、歴史的資料を数多く展示しています。

また、甲州貴石切子や瑪瑙^{めんのう}を何色にも染め上げたピクチャーメノウなど、伝統的な宝飾加工技術を活用し、宝石に新しい価値を生み出そうとする取り組みも併せて紹介しています。

開催期間／～2月11日(月・祝)
観覧料／無料



ペンダント《ゆきのはな》
デザイン:西美由紀
制作:山本製作所 山本武
ジュエリーフルヤ 古屋孝夫



リング・ペンダント《待宵》
デザイン:米山美香
制作:河野水晶美術 河野道一
ジュエリーアートクレアール 久保寺今朝之

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

第16回 わたしたちの研究室展示会

未来の研究者を目指す小中学生が歴史や考古学について研究した成果を、一斉に展示します。子どもたちは、自身が抱いた疑問や不思議を、独自の視点からさまざまな方法で研究しています。



第15回展示会の様子

大人に負けない、見どころたっぷりの研究成果をぜひご覧ください。

開催期間／2月9日(土)～3月3日(日)
観覧料／無料

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

山梨プラネタリウムフェスティバル 2019

毎年恒例のプラネタリウムのお祭りを開催します。1回分の観覧料で、1日何回でもプラネタリウムが楽しめるスペシャルな2日間です。「ムーンナイトモンスター」をはじめとする当館オリジナル番組などを上映するほか、開館20周年特別企画として「プラネタリウム リクエストアワー」も開催します。



開催日／2月10日(日)、11日(月・祝)
観覧料／大人310円、小・中学生、高校生120円(入館料別途)
幼児120円(入館無料)

富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-2314
FAX 0555-72-2337

企画展 吉田口登山道の騾ケ馬場と流鏝馬

かつて吉田口登山道の騾ケ馬場と呼ばれる場所で行われていたという流鏝馬や、現在の勝山・下吉田の両浅間神社で執り行われている流鏝馬を通して、富士山の信仰の場や神事を紹介します。



下吉田の流鏝馬祭り

開催期間／1月1日(火・祝)～2月25日(月)
観覧料／一般420円 大学生210円

県立図書館

甲府市北口 2-8-1
TEL 055-255-1040
FAX 055-255-1042

辻村深月トークショー&シンポジウム

「1冊の本が読者に届くまで」と題して、本県出身で直木賞受賞作家の辻村深月さんが、本屋大賞受賞作『かがみの孤城』の制作過程などについて担当編集者と対談を行います。また、辻村さんを交えて、山梨の読書について考えるシンポジウムも併せて開催します。



本県出身の作家・辻村深月さん

開催日時／2月16日(土) 午後3時～5時
参加料／無料
※事前申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください。

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

平成30年度 新収蔵品展

平成30年に当館が収蔵した作品を紹介します。南部町出身で水墨画に光と影の明暗を取り入れて独自の画風を切り拓き、多様な表現を試みた近藤浩一路、甲府市出身で画中に詩文などを書き込み、画と書を一体的に表現した三枝茂雄の日本画などを展示します。このほか、山梨にゆかりのある作家の洋画、版画、工芸品なども展示しますのでぜひご覧ください。

開催期間／2月2日(土)～3月3日(日)
観覧料／無料



近藤浩一路〈東山初夏〉制作年不詳
紙本墨画



三枝茂雄〈白梅花〉1978年
紙本墨画着色

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

シンボル展

『木喰上人作 木彫佛』—身延の木喰さん、世に出るその最初—

身延町出身の僧・木喰は、「微笑仏」とも呼ばれるほほ笑みをたたえた仏像を全国に彫り残しました。大正時代に木喰の仏像に出会い、その魅力にとらわれた民芸運動の創始者・柳宗悦は精力的に調査を行い、その集大成として大判写真集『木喰上人作 木彫佛』を刊行しました。

本展では、同書に収録された写真104点全てに加え、木喰仏3体などを展示し、柳宗悦が魅了された木喰仏のほほ笑みと、その活動を支援した山梨の人々の情熱を紹介します。

開催期間／1月12日(土)～2月25日(月)
観覧料／一般510円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



「薬師如来像」(栃木県栃窪薬師堂)



「地藏菩薩像」(日本民藝館)

※写真はいずれも『木喰上人作 木彫佛』から引用

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

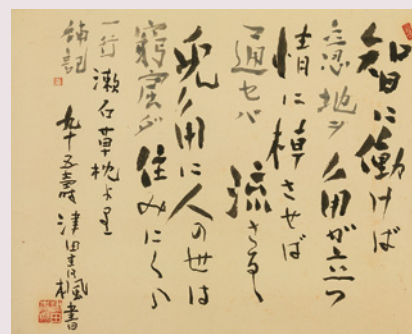
開館30周年記念 新収蔵品展 手書きのリズム

作家の手書きの原稿や手紙には、文字の強弱や書かれた速度など、独特のリズムがあります。芥川龍之介の戯曲「浅草公園」の原稿は、ペン書きの文字が整然と並び、吹き出しの書き加えや訂正の跡からは文章を丁寧に推敲した様子がうかがえます。本展では、このほか与謝野晶子、飯田蛇笏、中村星湖、津田青楓の書、武田泰淳の原稿など、平成30年に当館で新たに収蔵した資料を中心に、約80点の資料を展示します。手書きの文字から、作家の個性を見つけてください。

開催期間／1月26日(土)～3月24日(日)
観覧料／無料



芥川龍之介「浅草公園」原稿



津田青楓 筆 夏目漱石「草枕」冒頭 額装

ふれあい 読者プレゼント

プレミアムジャム 抽選で10名の方に!

(「株」佐藤農園)提供



「美味しい甲斐開発プロジェクト」
については、ホームページを
ご覧ください。

美味しい甲斐開発

検索



アンケート

問1:今号の中で最も関心を持った内容は?

問2:若者に山梨へU・Iターンをしてもらうためには?

※頂いたご意見の一部は、春号で紹介させていただきます。

応募方法

アンケートの回答と、次の①～⑤をご記入の上、はがき、電子メール
ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号

応募先

山梨県広聴広報課「ふれあい読者プレゼント」係
はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp
(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

締め切り 1月31日(木)(当日消印有効)

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。
個人情報、商品の発送のみに使用します。

山梨県の広報誌「ふれあい」が読める無料アプリ



「マチイロ」のアプリをダウンロード
(無料)すると、スマートフォンで
「ふれあい」が読めます。

マチイロ 検索

結果発表! 「自助」として心掛けている防災対策は?

秋号のアンケートに寄せられたご意見の一部を紹介します。

備蓄品の備え

飲料水・薬を常備(南アルプス市・60代女性)。
非常用の食料・缶詰などは、定期的に点検
(富士吉田市・40代女性)。飲み水・食料を買い
置き(山梨市・60代女性)。トイレトーパーなど
日用品を備蓄(山梨市・30代女性)。乳児が
いるので、オムツやベビーフードを常備(甲府
市・30代女性)。

日常生活の中での備え

地域の防災訓練に積極的に参加(甲府市・
60代男性)。寝室にラジオ・懐中電灯を常備
(大月市・60代女性)。家具の転倒防止(甲府市・
70代女性)。お風呂には常に水をためている
(甲斐市・30代女性)。カセットコンロのガスの点
検(山梨市・40代女性)。



「やまなし防災力向上テキスト」で、
自助対策の確認を!

やまなし防災力向上テキスト

検索

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



■やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、FSC森林管理課証を取得した
山梨県有林からの木材が使用されています。